

平成 17 年 6 月 21 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問い合わせ先 社長室 マネージャー
林 毅俊
電話番号 03-5730-2753

米国 Rush 大学とアンジェス MG がライセンス契約締結

- NF B デコイオリゴを椎間板変性症治療薬として開発、販売する独占的権利を確保 -

当社は、この度、Rush 大学(米国、イリノイ州)との間で、NF B デコイオリゴを椎間板変性症治療薬として開発するために必要な特許権に関して、全世界を対象とする独占的実施権の許諾を受けるライセンス契約を締結いたしましたのでお知らせ致します。これにより、当社は、NF B デコイオリゴを椎間板変性症治療薬として、世界で独占的に開発、販売することが可能になりました。

NF B デコイオリゴは、アトピー性皮膚炎、関節リウマチなどの治療薬として当社が開発を進めている核酸医薬です。NF B デコイオリゴは、主に炎症性サイトカインの産生を阻害する特徴があることから、過剰な免疫反応を原因とする疾患領域の治療薬として開発を進めております。

一方、椎間板変性症は、椎間板の変性を原因として腰部に痛みを生じる疾患です。椎間板が変性する過程では、IL-1 や TNF- α などの炎症性サイトカインや蛋白分解酵素の関与が指摘されておりますが、NF B デコイオリゴは、これらのサイトカインや酵素の産生を阻害する作用を有しております。このため、当社は、昨年米国 Rush 大学と共同で、動物実験等により椎間板変性症治療薬としての可能性を検討し、共同で特許出願しておりました。

この度締結したライセンス契約は、共同研究の結果得られた当社と共同出願中の特許における Rush 大学の保有する権利について、当社が世界での独占的実施権の許諾を受けるものです。これにより、当社は、NF B デコイオリゴを椎間板変性症治療薬として、世界で独占的に開発、販売する権利を確保したことになります。

今後は、製薬会社との提携を探りながら、椎間板変性症治療薬として開発するための更なる検討を重ね、新規プロジェクトとしての可能性を検討してまいります。

なお、当社は、今後、Rush 大学に対して、契約一時金、マイルストーン及び上市後にロイヤリティを支払う予定ですが、業績に対する影響は軽微であり、当期の業績予想に変更はありません。

<ご参考>

用語の解説

1. NF- κ B (nuclear factor-kappa B)

NF- κ B は、炎症性サイトカインや接着因子など免疫反応に関する遺伝子の発現を調節する役割をもつ転写因子で、NF- κ B がゲノム上の結合部位に結合すると、免疫反応に関する遺伝子が過剰に発現します。このため、NF- κ B は、免疫反応が原因となるアトピー性皮膚炎や関節リウマチへの関与が指摘されています。

2. NF- κ B デコイオリゴ (NF- κ B decoy oligodeoxynucleotide)

遺伝子は、転写因子がゲノムに結合して転写が始まりますが、デコイは、そのゲノム上の転写因子結合部位と同じ配列を含む短い核酸を人工的に合成した人工遺伝子(核酸医薬とも呼ばれます)で、体内に投与すると転写因子がゲノムに結合することを阻害して遺伝子の働きを抑えます。

NF- κ B デコイオリゴは、NF- κ B に対するデコイであり、当社では、アトピー性皮膚炎、関節リウマチなど免疫反応を原因とする疾患の治療薬として開発しています。

3. 椎間板

ヒトの背骨は、頸から殿部まで約 30 個の椎骨が積み重なり構成されております。それぞれの椎骨(椎体)の間には、椎間板という軟骨の板が挟まっており、これが背骨にかかる重さを支えています。

4. 椎間板変性症

椎間板変性症は、椎骨と椎骨との間でクッションの働きをする軟骨である椎間板が、加齢などによって変性を起こし、痛みを感じる疾患のことで、いわゆる腰痛の原因の一つです。しかしながら、その治療方法は、消炎鎮痛剤等による症状を緩和する対症療法に過ぎないことから、病気の進展を抑制することのできる有効な治療薬の開発が切望されております。

(椎間板変性症を含む)椎間板障害の患者数は日本で 34 万人、米国で 570 万人と大変多いうえ、ほとんどが 20-40 歳代の勤労者であることから、特に米国においては医療経済的損失が大きく重点疾患と位置づけられております。

以上